7 瀬谷第二地区 地域福祉保健計画　安全、安心、心豊かに暮らせるまち

1　地区の概況

・瀬谷区の南西部に位置し、境川を挟んで西隣が大和市となります。１２地区中、人口・世帯数がもっとも多く、23 の自治会があります。
・３区分の年齢構成は、区平均とほぼ同じですが、町によっては高齢化率が２割近くに達するなど、地区内でも差があります。
・高齢者対象の活動とあわせ、子育て支援活動が活発に行われています。また、お助けパートナーグループは、２団体が活動を行っています。

2　地区の主な意見

子育て家庭の見守り

・非行の低年齢化が進み、家庭の絆が弱まっています。地域での見守り、子育てへの支援や助言が必要とされます。
・子育てがうまくできない母親や自覚が足りない母親が増えています。母親同士で集まる機会、学習や話し合いの場が必要です。

高齢者の社会参加

・一人暮らしの高齢者の中には外に出たがらない人、コミュニケーションが苦手な人もいます。高齢者の社会参加をどう進めるかが問題です。
・地域デイサービスなどに車椅子の方や足の不自由な方が参加できるよう、送迎サービスの提供などが望まれます。

ボランティア活動

・ボランティアのニーズが高まり、しかも多様化している一方で、担い手が高齢化し、活動できる人が少なくなっています。ボランティア活動をさらにＰＲし、より理解を得ることが必要です。もっと若い世代を含んだ幅広い世代の参加が求められます。

地域の交流

・高齢者が日常生活で困った時など、近所同士の助け合いが大切です。連合自治会での活発な活動が効果的です。
・瀬谷第二地区には地域で高齢者や子どもを見守る風土があります。世代間交流の機会は数多く持たれていますが、さらに継続することが望まれます。

災害対策

・地域に住んでいる災害要支援者の人数や生活の場を把握しにくいため、災害発生時には対応ができないことが考えられます。
・防災訓練に高齢者の参加が少なく、一時避難所まで行けるような避難訓練が必要です。

3　地区で考えた地区の取組み

目指すまちの姿

誰もが安全に、安心して、心豊かに暮らせるまち

推進すること

1 災害対策の向上

- ♪ 日頃からの近所づきあいを大切に（災害弱者の把握、支援体制づくり）
- ♪ 防災訓練に高齢者等の参加を増やす
- ♪ 災害時の行動や支援体制など防災マニュアルを作成する

2 まちの安全を守る活動

- ♪ 防犯・防災の視点でまちを歩き、危険箇所などをチェックする
- ♪ 防犯を呼びかける看板などを設置する
- ♪ 小学生の登下校時にあわせたパトロール

3 交流の場づくり

- ♪ 公園や広場を活用して、多世代が集まれる場や機会づくりをすすめる
- ♪ 親子を対象に自治会などが地域の集いを開催する
- ♪ 地域サロンの開催を増やす

4 子ども・青少年の見守り

- ♪ 大人から子どもへの声かけやあいさつ
- ♪ 子育て家庭への近所からの声かけやあいさつ
- ♪ 母親同士の交流や学習、話し合いの機会をつくる

5 地域活動への参加

- ♪ 自治会未加入者に加入を呼びかける
- ♪ 誘い合わせて地域の行事に多くの人が参加する
- ♪ 老人会等への参加など高齢者の仲間づくり、社会参加をすすめる

6 ボランティア活動の拡充

- ♪ 広報誌によりボランティア活動の参加を呼びかける
- ♪ 地区社協に窓口を設置し、ボランティアの相談や情報提供を行う

推進体制

地区社協を母体として計画を推進

地区社協の構成団体の連携・役割分担のもとに推進します

団体　団体　　　　　　　